

このコーナーでは、ボランティアなどの公益的な町民活動をしている人や団体を応援し、その「はじめの一歩」のきっかけになるような記事を掲載しています。



# 認知症サポーター養成講座 in ボランティア交流会のお知らせ

**【日時】** 3月9日(金) 19時～21時  
**【場所】** ボランティア・町民活動支援センターふみらぼ  
**【内容】** 認知症サポーター養成講座と参加者の交流

☆認知症サポーターとは・・・  
何か特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者として自分の出来る範囲で活動します。  
受講者には、サポーターを示す「オレンジリング」が渡されます。

**【定員】** 26名(定員になり次第締切)  
**【対象】** ふみらぼに登録している団体・個人  
ボランティア活動に興味関心のある方

**【申込・問い合わせ】**  
ボランティア・町民活動支援センター  
ふみらぼ TEL933-1110  
認知症サポーターについて詳しく知りたい方は、下記のHPをご覧ください。  
<http://www.caravanmate.com/index.html>

## 協働力向上セミナーの報告

昨年、12月20日に福岡県NPO・ボランティアセンター主催の協働力向上セミナーがふみらぼにて開催されました。  
今回は、すてきな協働の事例として、子育てネットワーク～みんな代表の川上利香さんと子育て支援課の原田和幸主幹に「協働で進める子育て環境づくり」について話していただきました。  
子育て支援センター『ゆうゆう』が出来るまでの経緯など、実際に宇美町で行っている取り組みについての具体的なお話で、大変参考になりました。  
協働とは、町民・行政・企業などのひとつのセクションでは対応できない様々な問題について、異なる立場から情報や得意分野を持ち寄って、その問題を解決していこうとするものです。宇美町では、協力して進める関係のみならず、共に働く、共に行動する共働のまちづくりを目指しています。

- 協働のポイント**は…
- 出会う
  - 話そう
  - 仲間をつくろう
  - 話し合おう
- そして、協働の相手とともに
- 課題やテーマを理解・共有しよう
  - ともに出来ることを探ろう
  - 常に身の丈を意識しよう



**ポランコ星がら**

認知症サポーターキャラバンのマスコットは、  
ロバ隊長といます。

急がず、歩み着実に、  
「認知症になっても安心して暮ら  
まづくり」への道のりを歩み着

オレンジリングの「オレンジ」は、  
温かさを感じさせる色で、  
「手助けします」という意味を  
もつとされています。

全国には、3,091,354人(※2.12.31)  
の認知症サポーターがいます。  
みんながサポーターになろう!

**セミナーのアンケートより**

「ボランティアと行政の協働が上手くいくのも、人と人のつながりを大切にすることを感じました」  
「具体例が何点もあり、さまざまな分野で協働が求められているのがわかりやすかった」

**編集後記**：毎年ひとつずつ歳をとって行くことは誰もが同じです。自分が、親が、身近な人が高齢になった時、住み慣れた地域で安心して暮らせるといいですね。認知症サポーターになって、そのための一歩を始めましょう！(K. E)

●ボランティア・町民活動支援センター「ふみらぼ」(うみハピネス内) TEL933-1110 レイアウト・絵 ayako.m

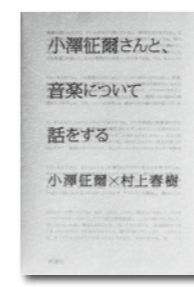
## ● 新刊案内 ●

### ★一般書★

**「ベテルギウスの超新星爆発」**  
加速膨張する宇宙の発見  
野本 陽代/著 幻冬舎  
星が一生の最後に自らを吹き飛ばす現象「超新星爆発」。オリオン座のベテルギウスは今、いつ爆発してもおかしくない状態にある。ベテルギウスが爆発したら何が起きるのか？超新星の最新研究をやさしく解説する。



**「小澤征爾さんと、音楽について話をする」**  
小澤 征爾・村上 春樹/著 新潮社  
カーネギー・ホールでの劇的な復活コンサート、カラヤンやバーンスタインと過ごした月日、若い世代へと繋いでゆくもの。作家・村上春樹が、不世出の指揮者・小澤征爾の煌めく魂に触れた迫真のロングインタビュー。



### ★児童書★

**子ども「学問のすすめ」**  
齊藤 孝/著 筑摩書房  
勉強、人生、人間関係。すべてが学べる日本最強の教育書、福沢諭吉の「学問のすすめ」に出てくる言葉を、原文・現代語訳とともに、子どもにもわかるようやさしく説明した本。



### ●図書館に“龍”登場●

図書館の布のカレンダーに今年の干支“龍”が登場しました。迫力のある龍が皆さんをお迎えします。  
(作成：布の絵本製作ボランティア「ポエム」)



### ●展示コーナーのお知らせ●

**「町内小中学校 読書活動の取組み」**  
昨年4月からの学校での児童・生徒の読書活動の様子を紹介しています。  
○開催期間：2月19日(日)まで  
○会場：うみ・みらい館展示コーナー  
※2月22日(水)からは、読書活動の取組みのパネルを宇美町役場『町民ギャラリー憩い』にて展示します。

### ●図書館臨時休館のお知らせ● ～蔵書点検及び補修工事～

図書館では、蔵書点検及び児童・青少年コーナー床の補修工事を行いますので、下記の期間休館します。  
休館中の本や雑誌などの返却は、正面玄関横の返却ポストをご利用ください。CD、DVDは返却ポストに入れなくてください。開館日にカウンターへお返しください。  
**★休館期間 2月20日(月)～3月5日(月)**  
※利用者の皆様には、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。  
※2月第4水曜日のとんとんのおはなし会はありません。

### ●団体登録を受け付けています●

図書館では、町内の保育園・幼稚園・ボランティア団体等の利用のために団体貸出を行っています。利用に際しては団体登録が必要となります。登録されると1団体、図書100冊、最長2ヶ月間借りることができます。  
また、大型絵本や布の絵本を借りることができます。(貸出期間・点数は図書とは異なります) まだ登録されていない団体の方、詳しくは、図書館にお尋ねください。

### ●3月の特集コーナー●

**テーマ：春よこい**  
3月11日の東日本大震災から約1年が経ちました。あの日を忘れないために、また、これから私たちは何をすべきか考えるために、ぜひ本を手にとってみてください。  
児童書は「春の本」をご紹介します。

- ★一般書コーナー**
- ☆『3.11』
  - ・「あの日のこと」高橋 邦典/写真・文 ポプラ社
  - ・「前へ！」麻生 幾/著 新潮社
  - ・「宮城県気仙沼発！ファイト新聞」ファイト新聞社/著 河出書房新社
  - ☆『10巻以上ある小説』
  - ・「銀の檻を溶かして」高里 椎奈/著 講談社
  - ・「王都炎上・王子二人」田中 芳樹/著 光文社
  - ・「豹頭の仮面」栗本 薫/著 早川書房
- ★児童書コーナー**
- ☆春の本
  - ・「春の足音」那須 正幹/作 永田 萌/絵 ポプラ社
  - ・「くまくんおきて！」リンリー・ドッド/文・絵 PHP研究社
  - ・「はるをさがしに」亀岡 亜希子/作・絵 文溪堂

【1月の利用状況】入館者数：14,196人 貸出者数：5,634人 貸出冊数：24,209冊